



No. 6

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和2年度第2回

一般国道307号

しがらき

信 楽 道 路

【再評価】

令和2年11月
近畿地方整備局

新型コロナウイルス対策に伴う工事等の一時中止による
コスト、工期への影響は考慮していない

目次

1. 事業全体図
2. 事業の概要
3. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
4. 事業進捗の見込みの視点
5. コスト縮減や代替案等の可能性の視点
6. 関係自治体の意見
7. 対応方針(原案)

1. 事業全体図

一般国道307号 信楽道路

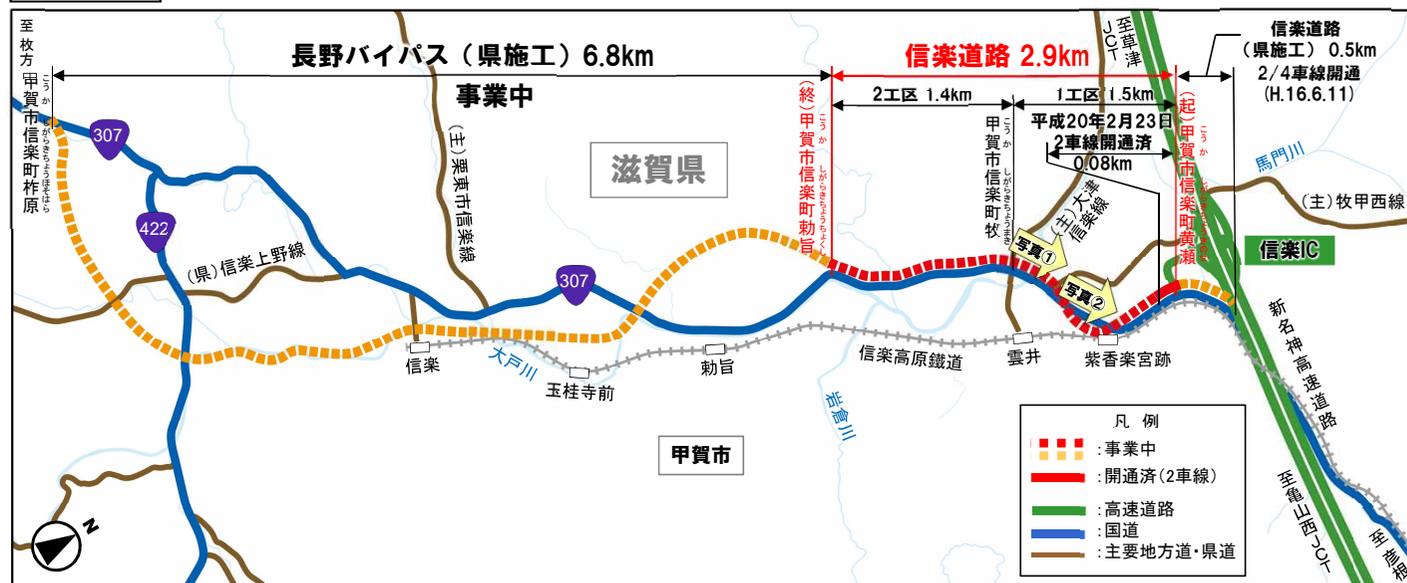
一般国道307号は、滋賀県彦根市を起点とし、滋賀県甲賀地域を経て大阪府枚方市に至る延長約110kmの幹線道路であり、沿線市町間を連携する重要な路線である。

信楽道路は、一般国道307号の交通混雑の緩和、交通安全の確保を図るとともに、新名神高速道路へのアクセス強化により、地域の活性化を支援することを目的とした延長2.9kmの道路である。

広域図



位置図



写真① 混雑状況



写真② 通学路の状況



2. 事業の概要

事業の目的

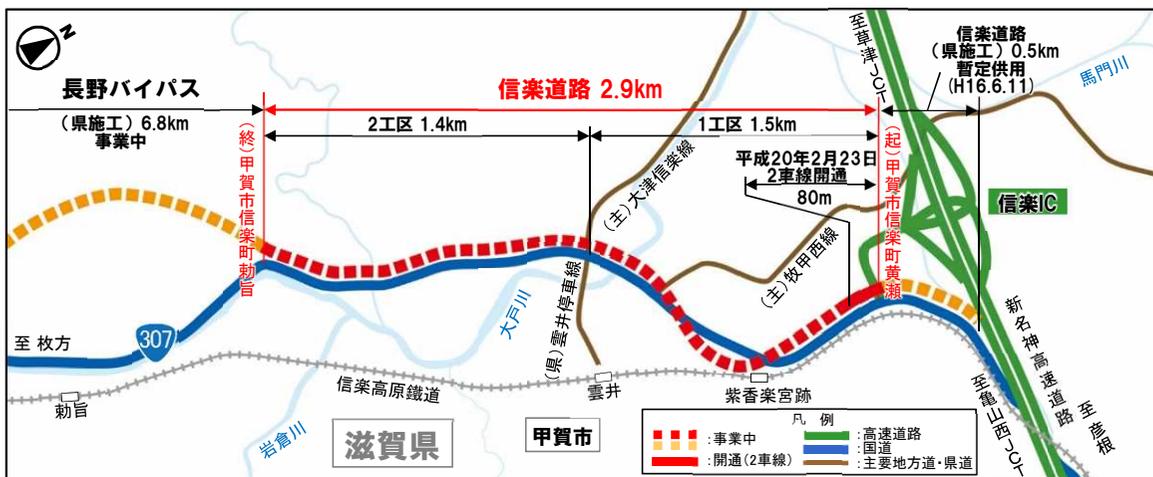
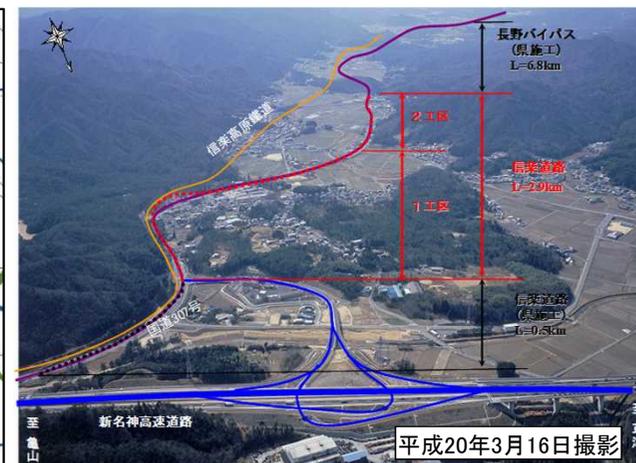
事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 新名神高速道路へのアクセス強化

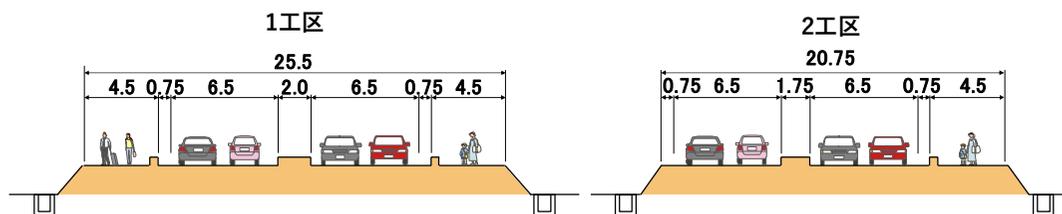
事業の概要・進捗状況

区間	(起)滋賀県甲賀市信楽町黄瀬 (終)滋賀県甲賀市信楽町勅旨
道路延長	2.9km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
標準幅員	(1工区)25.5m (2工区)20.75m
計画交通量	12,800台/日
全体事業費	80億円
事業化	(1工区)平成12年度 (2工区)平成16年度
都市計画決定	—
用地着手	平成17年度
工事着手	平成19年度
開通延長	(1工区)80m(2車線)
事業進捗率	約21%(令和2年3月末時点)
用地進捗率	約26%(面積ベース、令和2年3月末時点)

位置図



標準断面図



3. 事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

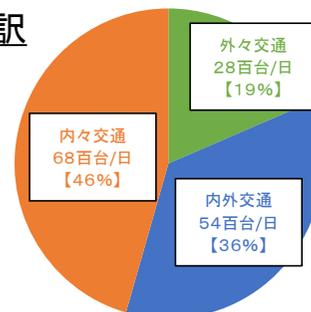
- 事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境変化等について確認した結果、事業の目的が失われるような社会経済情勢の変化はない。
- 一般国道307号を利用する交通特性(H22OD)は、内々交通が32%、内外交通52%と周辺地域を発着地とする割合が約8割を占めている。

■ 人口の推移

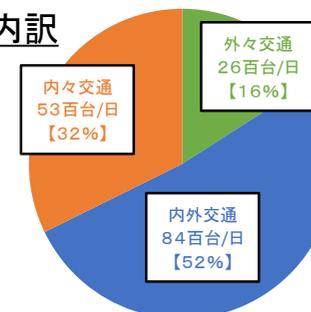


■ 国道307号のOD内訳

H17OD内訳



H22OD内訳

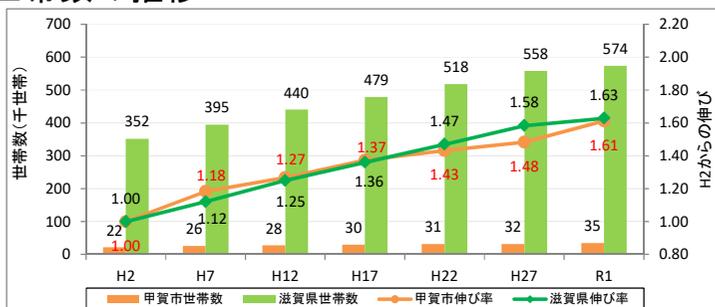


資料) H2~H22: 国勢調査、
H27・R1: 滋賀県推計人口年報
(滋賀県統計書)
※H2を基準(1.00)として、各年の伸び率を算出。

※周辺地域とは、当該道路が通過する甲賀市
※平成17年、平成22年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出
※平成22年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果が現時点で最新である。

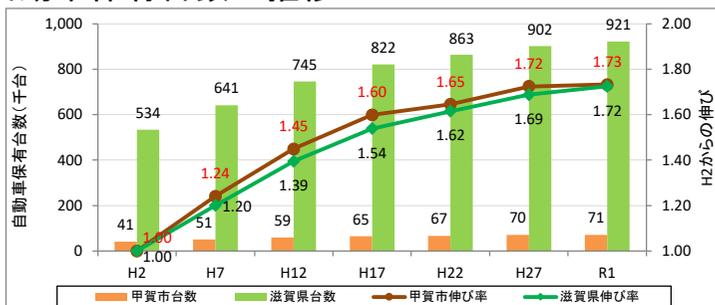
内外交通: 周辺地域とその他の地域の交通
内々交通: 周辺地域内の交通
外々交通: 通過交通

■ 世帯数の推移



資料) H2~H22: 国勢調査、
H27・R1: 滋賀県推計人口年報
(滋賀県統計書)
※H2を基準(1.00)として、各年の伸び率を算出。

■ 自動車保有台数の推移



資料) 自動車保有台数:
滋賀県統計書/滋賀県
※乗用車及び軽自動車の台数とする。
※H2を基準(1.00)として、各年の伸び率を算出。

■ 位置図



3. 事業の必要性等に関する視点

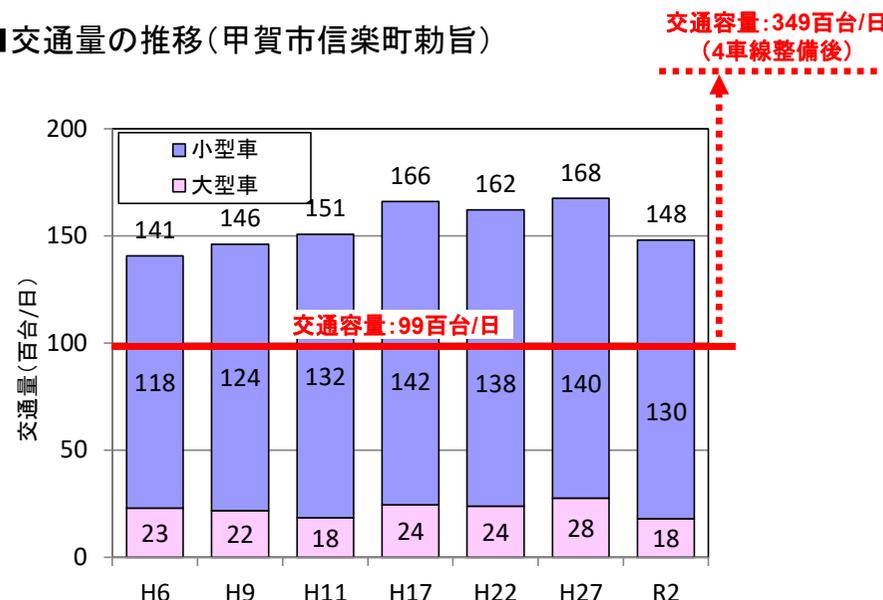
一般国道307号 信楽道路

2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

- 信楽道路の交通量は、平日で14,800台/日と交通容量を上回り、交通混雑が発生している。
- 信楽道路の整備による交通容量の拡大により、交通混雑の緩和が期待される。



■交通量の推移(甲賀市信楽町勅旨)



※交通量: H6~H27 全国道路・街路交通情勢調査、R2: 滋賀国道調べ R2.7.21
 交通容量: 平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査より算出

写真①



写真②

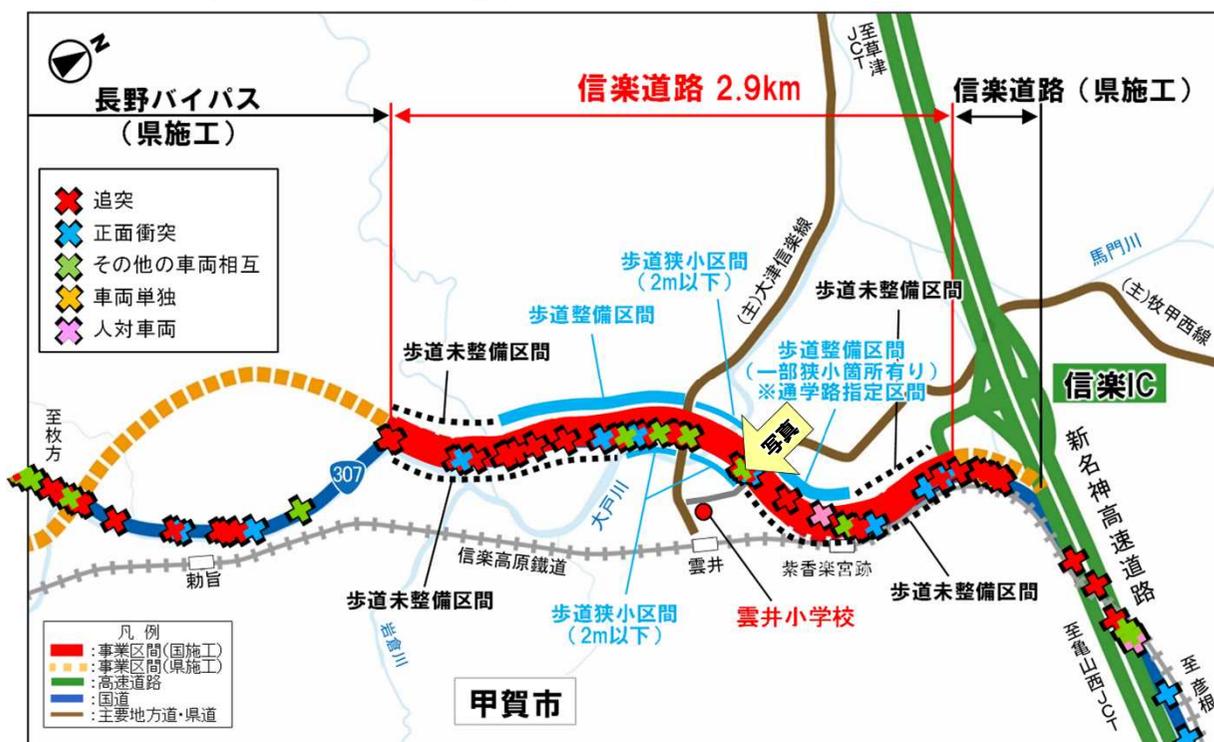


3. 事業の必要性等に関する視点

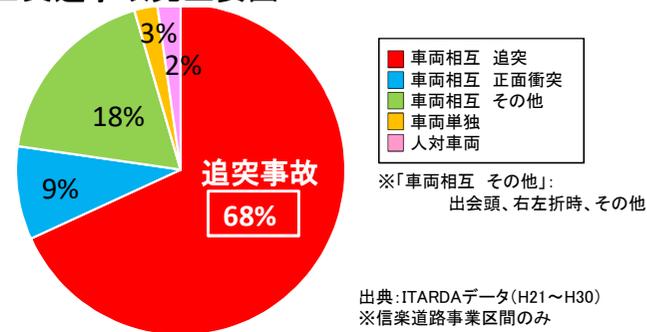
2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

- 信楽道路は、交通混雑に起因すると考えられる追突事故が多く、歩道未整備区間や歩道狭小区間が存在することから、通学路や市街地等における歩行者等の安全確保が課題となっている。
- 信楽道路の整備により、交通事故の減少や歩道整備による歩行者等の安全性向上が期待される。

■ 信楽道路の歩道整備状況と交通事故発生状況



■ 交通事故発生要因



歩道が狭い箇所があり、信号待ちの時など、生徒が危険な状況があります。
国道307号の歩道幅が確保されることで、通学時の安全性向上につながることを期待しています。



雲井小学校

出典: R2.7 滋賀国道事務所ヒアリング調査

出典: ITARDAデータ (H21~H30) ※「車両相互 その他」: 出会頭、右左折時、その他 ※国道307号のみ

■ 整備前後の標準断面図

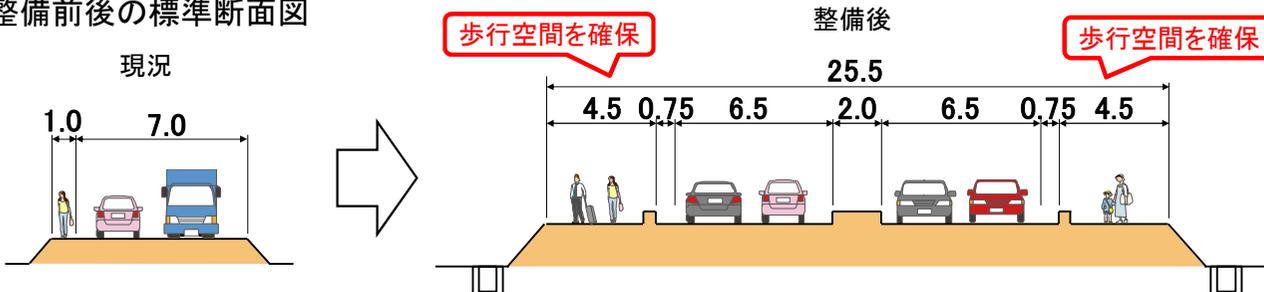


写真 通学路における信号待ちの状況



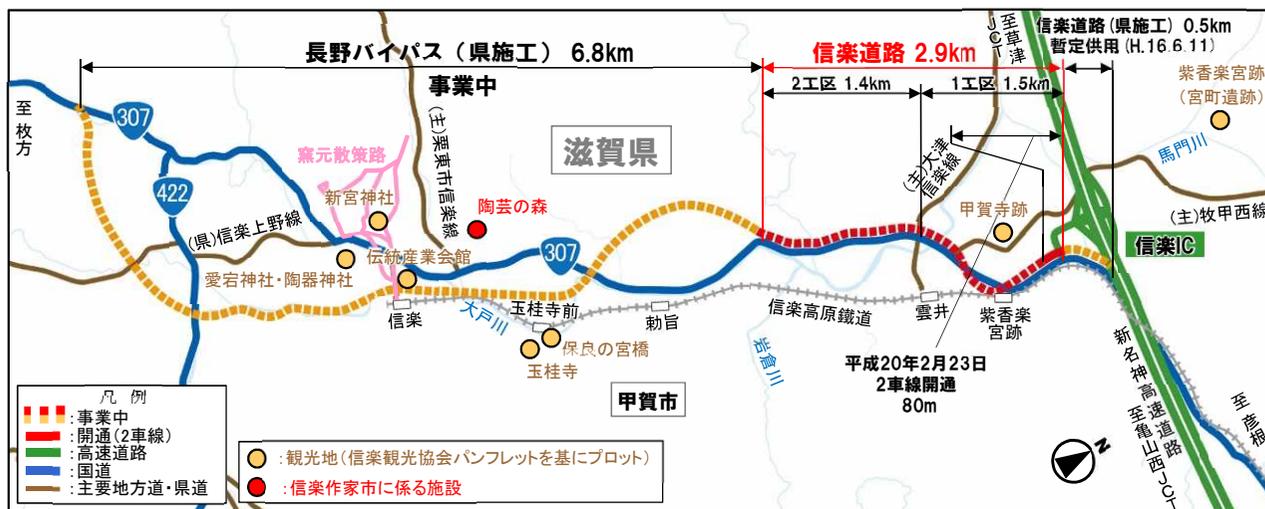
3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道307号 信楽道路

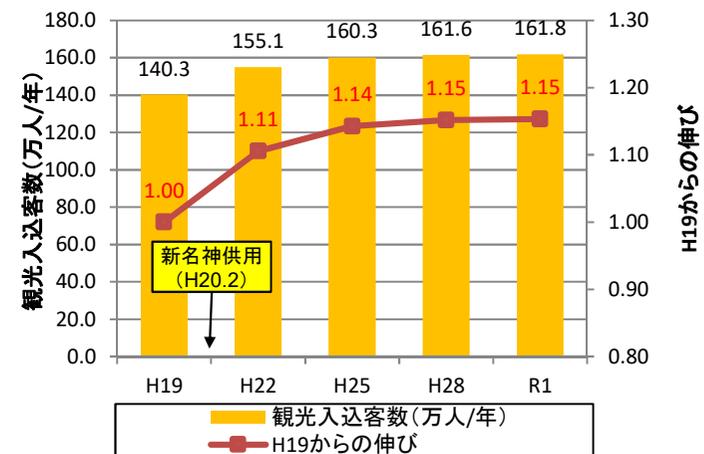
2) 事業の整備効果(新名神高速道路へのアクセス強化)

- 平成20年2月に新名神高速道路が供用し、甲賀市信楽町では観光入込客数が増加している。
- 信楽道路の整備により、新名神高速道路へのアクセス性が向上するとともに、信楽町内の交通の円滑化が図られ、観光アクセスの向上等に寄与。

■ 信楽道路周辺の観光地

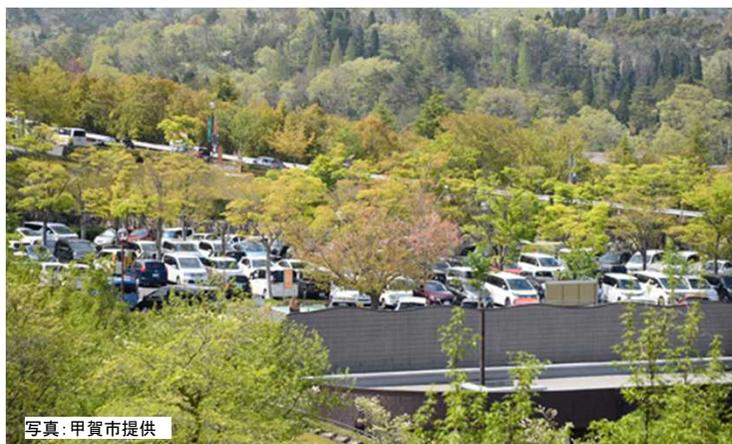


■ 甲賀市信楽町における観光入込客数の推移



出典: 甲賀市提供資料(日帰り客+宿泊客)

■ 観光イベント開催時の状況(信楽作家市)



朝ドラなどの影響もあり、観光客数が増加しています。混雑により観光を控えるといった声もあり、信楽道路の開通によるアクセス性の向上を期待しています。

甲賀市

出典: R2.7 滋賀国道事務所ヒアリング調査

3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道307号 信楽道路

3) 事業の投資効果

■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	89億円	5億円	1億円	95億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	71億円		2億円	73億円	

■ 算出条件等

基準年 : 令和2年度
 検討期間 : 50年間
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
 交通量の推計時点 : 令和12年度
 推計に用いた資料 : 平成22年度 全国道路・街路交通情勢調査
 適用した費用便益分析マニュアル : 平成30年2月版
 事業費 : 80億円
 維持管理費 : 6百万円/km
 作成主体 : 近畿地方整備局

■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	88億円	5億円	1億円	94億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	45億円		2億円	48億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

※4 推計に用いるOD表は現時点で最新の平成22年度全国道路・街路交通情勢調査を使用している

※5 参考: 前回評価資料 <https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/ippan/zigyohyoka/ol9a8v000000ci17-att/11.pdf>

4) 地域における計画等

■ 地域における計画

信楽道路は、下記の計画に位置づけられています。

- 「滋賀県道路整備マスタープラン(第2次)」(滋賀県:平成24年3月)
- 「滋賀県道路整備アクションプログラム2018」(滋賀県:平成30年3月)
- 「第2次甲賀市総合計画」(甲賀市:平成29年6月)

■ 要望経緯

○ 信楽地域区長会

- ・令和2年1月 信楽地域区長会が甲賀市長に「国道307号信楽道路並びに長野バイパス道路の積極的な整備推進」を要望

4. 事業進捗の見込みの視点

一般国道307号 信楽道路

1) 事業の進捗状況

令和2年度事業内容

- ・現在、調査設計を実施。

進捗状況

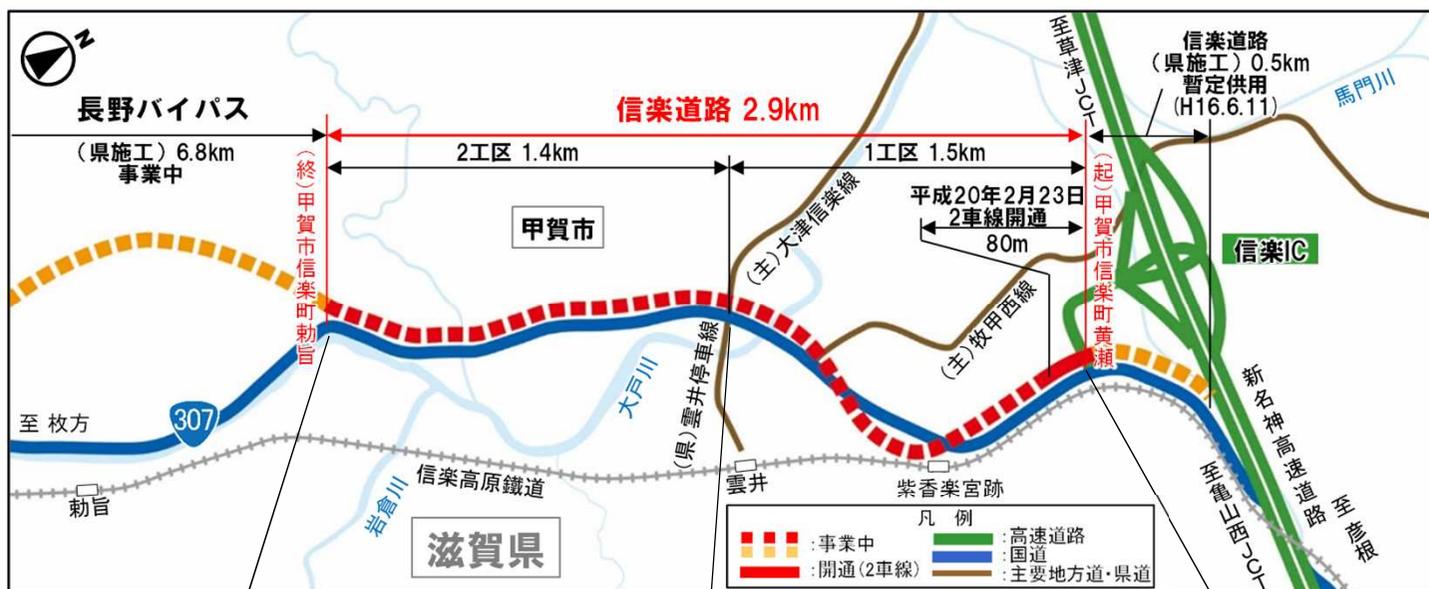
- ・令和2年度3月末までの進捗は、用地進捗率26%(面積ベース)、事業進捗率約21%(事業費ベース)。

進捗上の課題

- ・用地取得に時間を要したため、引き続き用地取得に向けた更なる協議が必要。

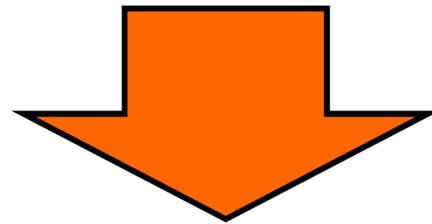
2) 今後の事業スケジュール等

- ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。



区間	2工区 1.4km	1工区 1.5km
用地	26%	
	用地推進	
工事	調査設計、用地取得	

信楽道路の計画は、現時点においても、交通混雑の緩和、交通安全の確保、新名神高速道路へのアクセス強化を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺環境の保全を図っています。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。

○滋賀県知事

令和2年10月26日 滋高幹第23号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道307号の事業が進められている現道区間においては、朝夕の通勤時間帯や観光客が増加する休日に交通混雑が発生しており、沿道地域の経済活動、社会活動に大きな支障をきたしています。

また、地域の活性化のため、広域ネットワークである新名神高速道路へのアクセスの強化が強く望まれています。

以上のことから、対応方針(原案)のとおり、事業効果の早期発現に向けたさらなる整備促進をお願いします。

事業実施にあたっては、必要な予算の確保と徹底したコスト縮減に取り組んでいただきますようお願いします。

なお、滋賀県としても事業促進に最大限の努力をしてまいります。

◆沿線市町の期待

■甲賀市長

(期待する効果)

①企業立地

- ・ 信楽道路の整備により、新名神高速道路のICへのアクセス性が向上し、京阪神圏・中部圏・北陸圏への広域物流網を活かした地場産業の販路拡大と、産業立地の促進が期待される。

②地域の活性化

- ・ 新名神高速道路の開通に伴い、京阪神・中部の大都市圏から約1時間程度でアクセスすることが可能になり、また、交通渋滞の解消により、観光施設への速達性、定時性が確保されることから、観光入込客数も更なる増加が期待される。

(取り組み)

①企業立地

- ・ 甲賀市では、「甲賀市固定資産税特別措置条例」による企業立地支援・優遇制度として、製造業等の企業の投資に対して、固定資産税の優遇措置を実施しています。

②地域の活性化

- ・ 甲賀市では、「甲賀流観光振興プロジェクト」として、「忍者」を核として、国内外からの観光誘客を図り、多様なビジネスチャンスにつなげることで、市内への経済の好循環を生み出します。日本遺産である忍者及び昨年度NHK連続テレビ小説「スカーレット」で脚光を浴びた信楽焼の活用を図るとともに、紫香楽宮跡、水口岡山城跡等の国史跡を活かした拠点整備等、官民連携による取組を重点的に支援しています。

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・事業目的である交通混雑の緩和、交通安全の確保、新名神高速道路へのアクセス強化が必要な状況は変化していない。
- ・信楽道路の整備による4車線化により、交通混雑の緩和が期待される。
- ・信楽道路の整備により、交通安全の確保が期待される。
- ・信楽道路の整備により、新名神高速道路へのアクセス強化が期待される。
- ・費用便益比(B/C)は、事業全体で1.3、残事業で2.0。

2. 事業進捗の見込みに関する視点

- ・信楽道路は1工区が平成12年度、2工区が平成16年度に事業化し、現在調査設計を推進。
- ・信楽道路は平成17年度に用地着手、令和2年3月時点で約26%取得済み。
- ・信楽道路は引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します。

信楽道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みに関する視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業継続



No. 6
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和2年度第2回

一般国道307号

しがらき
信 楽 道 路
【再評価】

(計算結果等参考資料)

令和2年11月
近畿地方整備局

新型コロナウイルス対策に伴う工事等の一時中止による
コスト、工期への影響は考慮していない

(再評価)

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道307号 信楽道路
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1.3 (経済的純現在価値 (B-C) = 22億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.1%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 2 (経済的純現在価値 (B-C) = 46億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 8.6%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 5894万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 18万人・時間/年 (12465万人・時間/年⇒12447万人・時間/年) 区間b (当該区間/並行区間) について : (主) 粟東信楽線 (主) 大津信楽線 (主) 牧甲西線 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 19万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 5割削減
		<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	信楽高原バス・コミタク (宮町エリア)
		<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上		
	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である		
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり		
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である		
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である		
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り		
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり		
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する		
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する		
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する		
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する		
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	信楽地域市民センター～栗東市役所(所要時間:29分→28分)	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	陶芸の森(年間観光客入込数:342千人/年 H30年)	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
			<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
		無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する				
安全で安心できるくらしの確保		<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	信楽地域市民センター～済生会滋賀県病院(所要時間:29分→28分)	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	滋賀県緊急輸送道路ネットワーク計画（第2次緊急輸送道路）
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する			
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量: 974.04t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(推計結果) 評価対象区間（現道/平行区間等）：(主)栗東信楽線 (主)大津信楽線 (主)牧甲西線 排出削減量：2.9t/年、排出削減率：1割削減
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(推計結果) 評価対象区間（現道/平行区間等）：(主)栗東信楽線 (主)大津信楽線 (主)牧甲西線 排出削減量：0.17t/年、排出削減率：1割削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	新名神高速道路（一体的整備区間は完了）
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	滋賀県道路整備アクションプログラム2018
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式 - 2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・ その他の別
一般国道307号	信楽道路	L=2.9km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
12,800	4車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	75億円	7.3億円	82億円
うち残事業分	58億円	7.3億円	66億円
基準年における 現在価値 (C)	71億円	2.3億円	73億円
うち残事業分	45億円	2.3億円	48億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和11年度			
単年便益 (初年便益)	6.4億円	0.33億円	0.07億円	6.8億円
基準年における 現在価値 (B)	89億円	4.6億円	0.96億円	95億円
うち残事業分	88億円	4.5億円	0.96億円	94億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	22億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.1%
費用便益比（残事業）	2.0
経済的純現在価値（残事業）	46億円
経済的内部収益率（残事業）	8.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	12,800台/日	±10%	1.1~1.6
事業費	58億円	±10%	1.2~1.4
事業期間	8年	±20%	1.2~1.4

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	12,800台/日	±10%	1.6~2.4
事業費	58億円	±10%	1.8~2.2
事業期間	8年	±20%	1.8~2.1

交通状況の変化

様式 - 3 ①

事業名：信楽道路（事業全体）

（推計時点 令和12年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 (2.9km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	12,200	12,800	
	走行時間 ^{※2}	[分]	7	4	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	15.30	8.93	
②主な周辺道路 ^{※4}	(主) 栗東信楽線 (3.3km)	交通量	[台/日]	1,100	100
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	0.99	0.13
	(主) 大津信楽線 (5.6km)	交通量	[台/日]	6,600	7,600
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	10.88	12.91
	(主) 牧甲西線 (5.6km)	交通量	[台/日]	1,400	1,400
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	3.01	3.09
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (3,121.1km)	走行時間費用	[億円/年]	8,738.50	8,737.25	

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,138.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,768.68	8,762.32	6.36

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

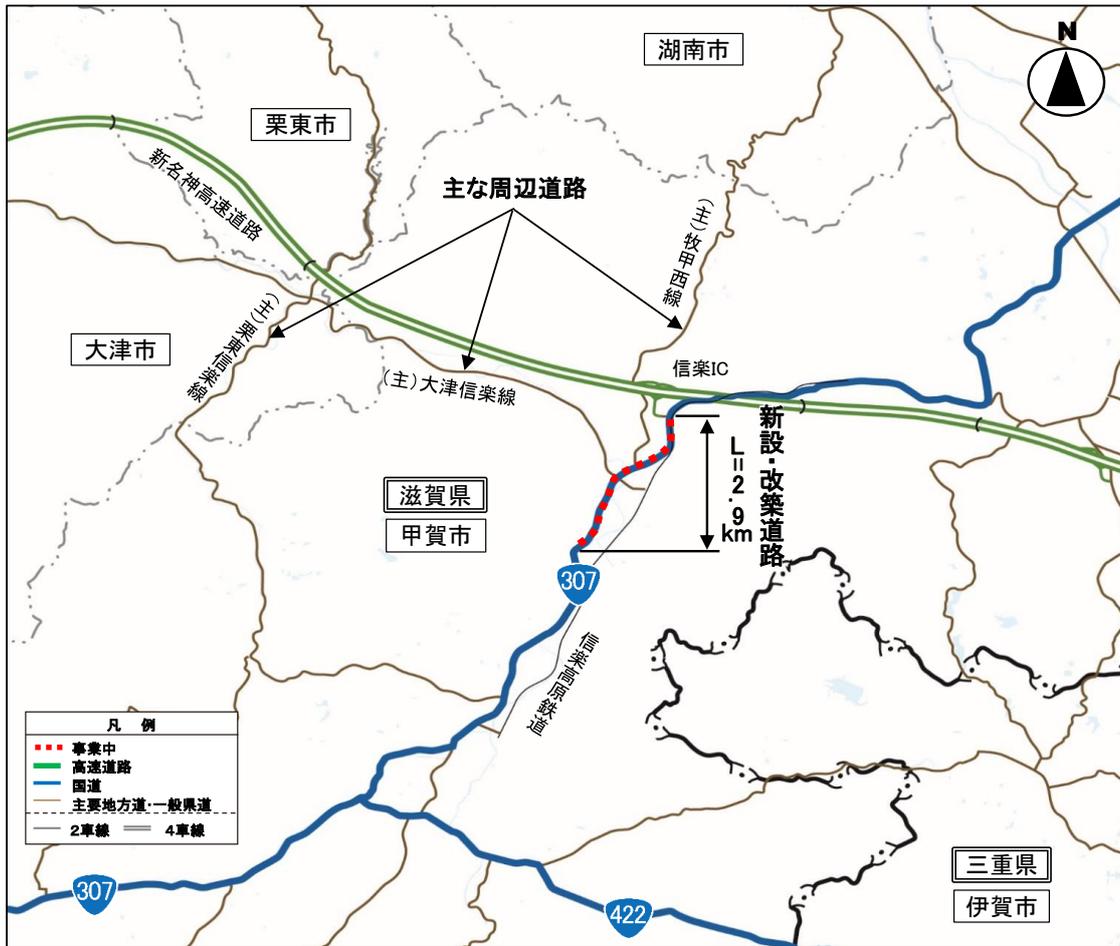
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式 - 3 ①

事業名：信楽道路（残事業）

（推計時点 令和12年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 (2.9km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	12,200	12,800	
	走行時間 ^{※2}	[分]	7	4	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	15.25	8.93	
②主な周辺道路 ^{※4}	栗東信楽線 (3.3km)	交通量	[台/日]	1,100	100
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	0.99	0.13
	大津信楽線 (5.6km)	交通量	[台/日]	6,600	7,600
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	10.88	12.91
	牧甲西線 (5.6km)	交通量	[台/日]	1,400	1,400
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	3.01	3.09
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (3,121.1km)	走行時間費用	[億円/年]	8,738.50	8,737.25	

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,138.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,768.63	8,762.32	6.31

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

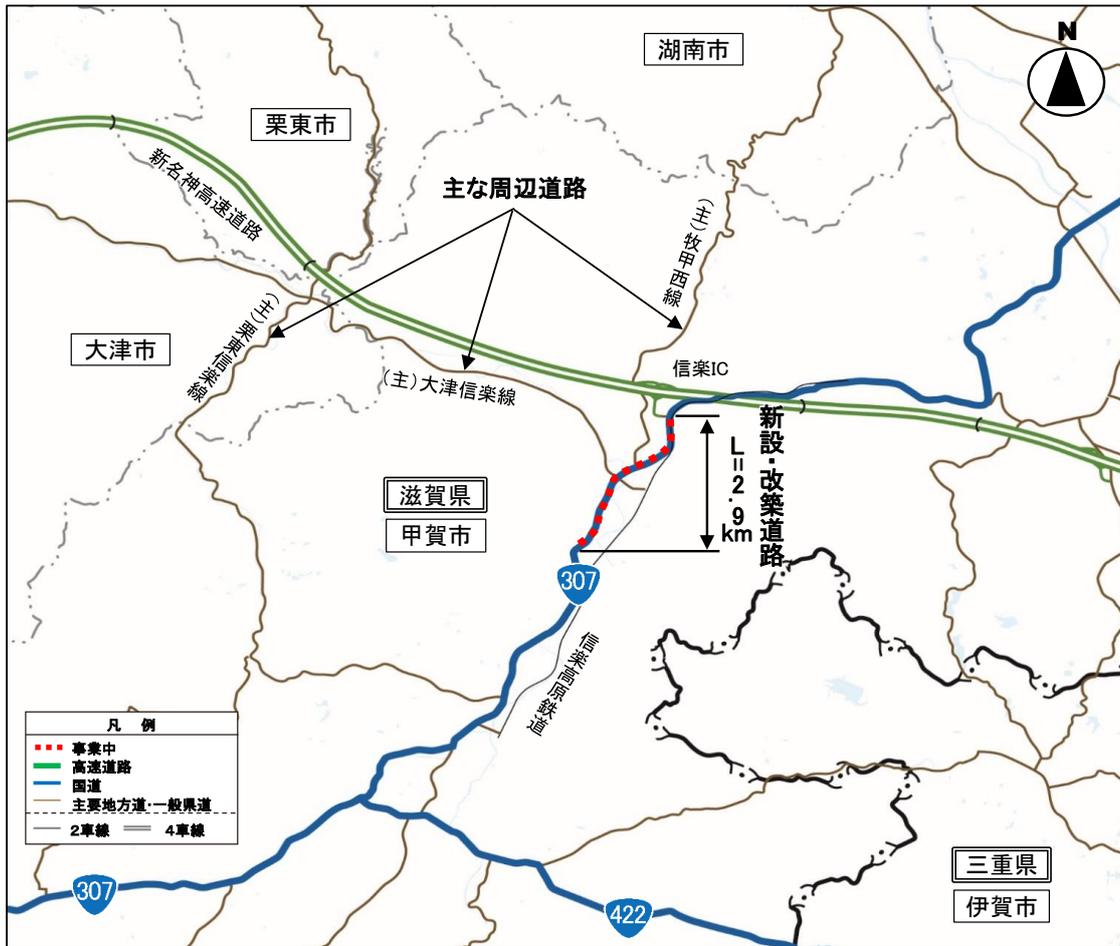
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：信楽道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和2年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

年次		年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
					単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
					0.06	2.9	0.16	
-29年目		H 12	2.1911	113.8	0.14	0.28		
-28年目		H 13	2.1068	112.4	0.15	0.29		
-27年目		H 14	2.0258	110.5	0.60	1.13		
-26年目		H 15	1.9479	109.0	0.61	1.12		
-25年目		H 16	1.8730	107.9	0.59	1.05		
-24年目		H 17	1.8009	106.7	0.51	0.89		
-23年目		H 18	1.7317	105.9	1.75	2.94		
-22年目		H 19	1.6651	105.0	1.27	2.07		
-21年目		H 20	1.6010	104.4	6.19	9.76		
-20年目		H 21	1.5395	103.0	2.19	3.36		
-19年目		H 22	1.4802	101.3	0.32	0.48		
-18年目		H 23	1.4233	99.8	0.25	0.37		
-17年目		H 24	1.3686	99.0	0.09	0.12		
-16年目		H 25	1.3159	99.0	0.68	0.93		
-15年目		H 26	1.2653	101.5	0.43	0.55		
-14年目		H 27	1.2167	103.0	0.09	0.11		
-13年目		H 28	1.1699	102.8	0.09	0.11		
-12年目		H 29	1.1249	102.9	0.09	0.10		
-11年目		H 30	1.0816	102.8	0.09	0.10		
-10年目		R 1	1.0400	102.8	0.09	0.10		
-9年目		R 2	1.0000	102.8	0.09	0.09		
-8年目		R 3	0.9615	102.8	0.09	0.09		
-7年目		R 4	0.9246	102.8	1.98	1.83		
-6年目		R 5	0.8890	102.8	2.95	2.63		
-5年目		R 6	0.8548	102.8	7.79	6.66		
-4年目		R 7	0.8219	102.8	7.27	5.98		
-3年目		R 8	0.7903	102.8	12.73	10.06		
-2年目		R 9	0.7599	102.8	14.55	11.05		
-1年目		R 10	0.7307	102.8	10.95	8.00		
供用開始年次		R 11	0.7026	102.8			0.15	0.10
1年目		R 12	0.6756	102.8			0.15	0.10
2年目		R 13	0.6496	102.8			0.15	0.09
3年目		R 14	0.6246	102.8			0.15	0.09
4年目		R 15	0.6006	102.8			0.15	0.09
5年目		R 16	0.5775	102.8			0.15	0.08
6年目		R 17	0.5553	102.8			0.15	0.08
7年目		R 18	0.5339	102.8			0.15	0.08
8年目		R 19	0.5134	102.8			0.15	0.07
9年目		R 20	0.4936	102.8			0.15	0.07
10年目		R 21	0.4746	102.8			0.15	0.07
11年目		R 22	0.4564	102.8			0.15	0.07
12年目		R 23	0.4388	102.8			0.15	0.06
13年目		R 24	0.4220	102.8			0.15	0.06
14年目		R 25	0.4057	102.8			0.15	0.06
15年目		R 26	0.3901	102.8			0.15	0.06
16年目		R 27	0.3751	102.8			0.15	0.05
17年目		R 28	0.3607	102.8			0.15	0.05
18年目		R 29	0.3468	102.8			0.15	0.05
19年目		R 30	0.3335	102.8			0.15	0.05
20年目		R 31	0.3207	102.8			0.15	0.05
21年目		R 32	0.3083	102.8			0.15	0.04
22年目		R 33	0.2965	102.8			0.15	0.04
23年目		R 34	0.2851	102.8			0.15	0.04
24年目		R 35	0.2741	102.8			0.15	0.04
25年目		R 36	0.2636	102.8			0.15	0.04
26年目		R 37	0.2534	102.8			0.15	0.04
27年目		R 38	0.2437	102.8			0.15	0.04
28年目		R 39	0.2343	102.8			0.15	0.03
29年目		R 40	0.2253	102.8			0.15	0.03
30年目		R 41	0.2166	102.8			0.15	0.03
31年目		R 42	0.2083	102.8			0.15	0.03
32年目		R 43	0.2003	102.8			0.15	0.03
33年目		R 44	0.1926	102.8			0.15	0.03
34年目		R 45	0.1852	102.8			0.15	0.03
35年目		R 46	0.1780	102.8			0.15	0.03
36年目		R 47	0.1712	102.8			0.15	0.02
37年目		R 48	0.1646	102.8			0.15	0.02
38年目		R 49	0.1583	102.8			0.15	0.02
39年目		R 50	0.1522	102.8			0.15	0.02
40年目		R 51	0.1463	102.8			0.15	0.02
41年目		R 52	0.1407	102.8			0.15	0.02
42年目		R 53	0.1353	102.8			0.15	0.02
43年目		R 54	0.1301	102.8			0.15	0.02
44年目		R 55	0.1251	102.8			0.15	0.02
45年目		R 56	0.1203	102.8			0.15	0.02
46年目		R 57	0.1157	102.8			0.15	0.02
47年目		R 58	0.1112	102.8			0.15	0.02
48年目		R 59	0.1069	102.8			0.15	0.02
49年目		R 60	0.1028	102.8	-16.60	-1.71	0.15	0.01
合計					58.05	70.54	7.27	2.27
単純事業費計					74.65		7.27	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道307号 信楽道路

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.06		2.9	0.16
-8年目	R 3	0.9615	102.8	0.09	0.09		
-7年目	R 4	0.9246	102.8	1.98	1.83		
-6年目	R 5	0.8890	102.8	2.95	2.63		
-5年目	R 6	0.8548	102.8	7.79	6.66		
-4年目	R 7	0.8219	102.8	7.27	5.98		
-3年目	R 8	0.7903	102.8	12.73	10.06		
-2年目	R 9	0.7599	102.8	14.55	11.05		
-1年目	R 10	0.7307	102.8	10.95	8.00		
供用開始年次	R 11	0.7026	102.8			0.15	0.10
1年目	R 12	0.6756	102.8			0.15	0.10
2年目	R 13	0.6496	102.8			0.15	0.09
3年目	R 14	0.6246	102.8			0.15	0.09
4年目	R 15	0.6006	102.8			0.15	0.09
5年目	R 16	0.5775	102.8			0.15	0.08
6年目	R 17	0.5553	102.8			0.15	0.08
7年目	R 18	0.5339	102.8			0.15	0.08
8年目	R 19	0.5134	102.8			0.15	0.07
9年目	R 20	0.4936	102.8			0.15	0.07
10年目	R 21	0.4746	102.8			0.15	0.07
11年目	R 22	0.4564	102.8			0.15	0.07
12年目	R 23	0.4388	102.8			0.15	0.06
13年目	R 24	0.4220	102.8			0.15	0.06
14年目	R 25	0.4057	102.8			0.15	0.06
15年目	R 26	0.3901	102.8			0.15	0.06
16年目	R 27	0.3751	102.8			0.15	0.05
17年目	R 28	0.3607	102.8			0.15	0.05
18年目	R 29	0.3468	102.8			0.15	0.05
19年目	R 30	0.3335	102.8			0.15	0.05
20年目	R 31	0.3207	102.8			0.15	0.05
21年目	R 32	0.3083	102.8			0.15	0.04
22年目	R 33	0.2965	102.8			0.15	0.04
23年目	R 34	0.2851	102.8			0.15	0.04
24年目	R 35	0.2741	102.8			0.15	0.04
25年目	R 36	0.2636	102.8			0.15	0.04
26年目	R 37	0.2534	102.8			0.15	0.04
27年目	R 38	0.2437	102.8			0.15	0.04
28年目	R 39	0.2343	102.8			0.15	0.03
29年目	R 40	0.2253	102.8			0.15	0.03
30年目	R 41	0.2166	102.8			0.15	0.03
31年目	R 42	0.2083	102.8			0.15	0.03
32年目	R 43	0.2003	102.8			0.15	0.03
33年目	R 44	0.1926	102.8			0.15	0.03
34年目	R 45	0.1852	102.8			0.15	0.03
35年目	R 46	0.1780	102.8			0.15	0.03
36年目	R 47	0.1712	102.8			0.15	0.02
37年目	R 48	0.1646	102.8			0.15	0.02
38年目	R 49	0.1583	102.8			0.15	0.02
39年目	R 50	0.1522	102.8			0.15	0.02
40年目	R 51	0.1463	102.8			0.15	0.02
41年目	R 52	0.1407	102.8			0.15	0.02
42年目	R 53	0.1353	102.8			0.15	0.02
43年目	R 54	0.1301	102.8			0.15	0.02
44年目	R 55	0.1251	102.8			0.15	0.02
45年目	R 56	0.1203	102.8			0.15	0.02
46年目	R 57	0.1157	102.8			0.15	0.02
47年目	R 58	0.1112	102.8			0.15	0.02
48年目	R 59	0.1069	102.8			0.15	0.02
49年目	R 60	0.1028	102.8	-10.01	-1.03	0.15	0.01
合計				48.31	45.27	7.27	2.27
単純事業費計				58.32		7.27	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道307号 信楽道路

年次	年度 (基準年) R 2	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)				走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 11	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.7026	102.8	3.89	1.01	1.47	6.37	4.47	0.20	0.04	0.08	0.33	0.23	0.07	0.05	6.76	4.75
1年目	R 12	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.6756	102.8	3.88	1.00	1.48	6.36	4.30	0.20	0.04	0.08	0.33	0.22	0.07	0.05	6.75	4.56
2年目	R 13	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6496	102.8	3.85	0.99	1.47	6.32	4.10	0.20	0.04	0.08	0.32	0.21	0.07	0.04	6.71	4.36
3年目	R 14	0.99183	0.99059	0.99800	0.99254	0.6246	102.8	3.82	0.98	1.47	6.27	3.92	0.20	0.04	0.08	0.32	0.20	0.07	0.04	6.66	4.16
4年目	R 15	0.99177	0.99050	0.99800	0.99248	0.6006	102.8	3.79	0.97	1.47	6.23	3.74	0.20	0.04	0.08	0.32	0.19	0.07	0.04	6.62	3.97
5年目	R 16	0.99170	0.99041	0.99799	0.99242	0.5775	102.8	3.76	0.96	1.46	6.19	3.57	0.20	0.04	0.08	0.32	0.18	0.07	0.04	6.57	3.79
6年目	R 17	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5553	102.8	3.73	0.95	1.46	6.14	3.41	0.20	0.04	0.08	0.31	0.17	0.07	0.04	6.52	3.62
7年目	R 18	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.5339	102.8	3.70	0.94	1.46	6.10	3.26	0.19	0.04	0.08	0.31	0.17	0.07	0.04	6.48	3.46
8年目	R 19	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.5134	102.8	3.67	0.94	1.46	6.06	3.11	0.19	0.04	0.08	0.31	0.16	0.07	0.03	6.43	3.30
9年目	R 20	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.4936	102.8	3.63	0.93	1.45	6.01	2.97	0.19	0.03	0.08	0.31	0.15	0.07	0.03	6.39	3.15
10年目	R 21	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4746	102.8	3.60	0.92	1.45	5.97	2.83	0.19	0.03	0.08	0.31	0.15	0.06	0.03	6.34	3.01
11年目	R 22	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4564	102.8	3.57	0.91	1.45	5.93	2.70	0.19	0.03	0.08	0.30	0.14	0.06	0.03	6.29	2.87
12年目	R 23	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4388	102.8	3.54	0.90	1.44	5.88	2.58	0.19	0.03	0.08	0.30	0.13	0.06	0.03	6.25	2.74
13年目	R 24	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.4220	102.8	3.51	0.89	1.44	5.84	2.46	0.18	0.03	0.08	0.30	0.13	0.06	0.03	6.20	2.62
14年目	R 25	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.4057	102.8	3.48	0.88	1.44	5.80	2.35	0.18	0.03	0.08	0.30	0.12	0.06	0.03	6.16	2.50
15年目	R 26	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.3901	102.8	3.45	0.87	1.44	5.75	2.24	0.18	0.03	0.08	0.30	0.12	0.06	0.02	6.11	2.38
16年目	R 27	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3751	102.8	3.42	0.86	1.43	5.71	2.14	0.18	0.03	0.08	0.29	0.11	0.06	0.02	6.06	2.27
17年目	R 28	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3607	102.8	3.38	0.85	1.43	5.67	2.04	0.18	0.03	0.08	0.29	0.10	0.06	0.02	6.02	2.17
18年目	R 29	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3468	102.8	3.35	0.84	1.43	5.62	1.95	0.18	0.03	0.08	0.29	0.10	0.06	0.02	5.97	2.07
19年目	R 30	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3335	102.8	3.32	0.83	1.42	5.58	1.86	0.17	0.03	0.08	0.29	0.10	0.06	0.02	5.93	1.98
20年目	R 31	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.3207	102.8	3.29	0.82	1.42	5.54	1.78	0.17	0.03	0.08	0.28	0.09	0.06	0.02	5.88	1.89
21年目	R 32	0.99043	0.98867	0.99793	0.99138	0.3083	102.8	3.26	0.82	1.42	5.49	1.69	0.17	0.03	0.08	0.28	0.09	0.06	0.02	5.83	1.80
22年目	R 33	0.99034	0.98854	0.99792	0.99130	0.2965	102.8	3.23	0.81	1.41	5.45	1.62	0.17	0.03	0.08	0.28	0.08	0.06	0.02	5.79	1.72
23年目	R 34	0.99024	0.98840	0.99792	0.99123	0.2851	102.8	3.20	0.80	1.41	5.41	1.54	0.17	0.03	0.08	0.28	0.08	0.06	0.02	5.74	1.64
24年目	R 35	0.99014	0.98827	0.99791	0.99115	0.2741	102.8	3.17	0.79	1.41	5.36	1.47	0.17	0.03	0.08	0.28	0.08	0.06	0.02	5.70	1.56
25年目	R 36	0.99005	0.98813	0.99791	0.99107	0.2636	102.8	3.13	0.78	1.41	5.32	1.40	0.17	0.03	0.08	0.28	0.07	0.06	0.02	5.65	1.49
26年目	R 37	0.98995	0.98798	0.99790	0.99099	0.2534	102.8	3.10	0.77	1.40	5.28	1.34	0.16	0.03	0.08	0.27	0.07	0.06	0.01	5.60	1.42
27年目	R 38	0.98984	0.98784	0.99790	0.99091	0.2437	102.8	3.07	0.76	1.40	5.23	1.28	0.16	0.03	0.08	0.27	0.07	0.06	0.01	5.56	1.35
28年目	R 39	0.98974	0.98769	0.99790	0.99083	0.2343	102.8	3.04	0.75	1.40	5.19	1.22	0.16	0.03	0.08	0.27	0.06	0.06	0.01	5.51	1.29
29年目	R 40	0.98963	0.98754	0.99789	0.99074	0.2253	102.8	3.01	0.74	1.39	5.15	1.16	0.16	0.03	0.08	0.27	0.06	0.05	0.01	5.47	1.23
30年目	R 41	0.98953	0.98738	0.99789	0.99065	0.2166	102.8	2.98	0.73	1.39	5.10	1.11	0.16	0.03	0.08	0.26	0.06	0.05	0.01	5.42	1.17
31年目	R 42	0.98941	0.98722	0.99788	0.99057	0.2083	102.8	2.95	0.72	1.39	5.06	1.05	0.16	0.03	0.08	0.26	0.05	0.05	0.01	5.37	1.12
32年目	R 43	0.98930	0.98705	0.99788	0.99048	0.2003	102.8	2.92	0.71	1.39	5.02	1.00	0.15	0.03	0.08	0.26	0.05	0.05	0.01	5.33	1.07
33年目	R 44	0.98919	0.98688	0.99787	0.99039	0.1926	102.8	2.89	0.70	1.38	4.97	0.96	0.15	0.03	0.08	0.26	0.05	0.05	0.01	5.28	1.02
34年目	R 45	0.98907	0.98671	0.99787	0.99029	0.1852	102.8	2.85	0.70	1.38	4.93	0.91	0.15	0.03	0.08	0.25	0.05	0.05	0.01	5.24	0.97
35年目	R 46	0.98895	0.98653	0.99786	0.99020	0.1780	102.8	2.82	0.69	1.38	4.89	0.87	0.15	0.03	0.08	0.25	0.04	0.05	0.01	5.19	0.92
36年目	R 47	0.98882	0.98634	0.99786	0.99010	0.1712	102.8	2.79	0.68	1.37	4.84	0.83	0.15	0.03	0.08	0.25	0.04	0.05	0.01	5.14	0.88
37年目	R 48	0.98870	0.98615	0.99785	0.99000	0.1646	102.8	2.76	0.67	1.37	4.80	0.79	0.15	0.02	0.08	0.25	0.04	0.05	0.01	5.10	0.84
38年目	R 49	0.98857	0.98596	0.99785	0.98990	0.1583	102.8	2.73	0.66	1.37	4.75	0.75	0.14	0.02	0.08	0.25	0.04	0.05	0.01	5.05	0.80
39年目	R 50	0.98844	0.98576	0.99785	0.98980	0.1522	102.8	2.70	0.65	1.36	4.71	0.72	0.14	0.02	0.08	0.24	0.04	0.05	0.01	5.00	0.76
40年目	R 51	0.98830	0.98555	0.99784	0.98969	0.1463	102.8	2.67	0.64	1.36	4.67	0.68	0.14	0.02	0.08	0.24	0.04	0.05	0.01	4.96	0.73
41年目	R 52	0.98816	0.98534	0.99784	0.98958	0.1407	102.8	2.64	0.63	1.36	4.62	0.65	0.14	0.02	0.08	0.24	0.03	0.05	0.01	4.91	0.69
42年目	R 53	0.98802	0.98513	0.99783	0.98947	0.1353	102.8	2.60	0.62	1.36	4.58	0.62	0.14	0.02	0.08	0.24	0.03	0.05	0.01	4.87	0.66
43年目	R 54	0.98787	0.98490	0.99783	0.98936	0.1301	102.8	2.57	0.61	1.35	4.54	0.59	0.14	0.02	0.08	0.23	0.03	0.05	0.01	4.82	0.63
44年目	R 55	0.98773	0.98467	0.99782	0.98925	0.1251	102.8	2.54	0.60	1.35	4.49	0.56	0.13	0.02	0.08	0.23	0.03	0.05	0.01	4.77	0.60
45年目	R 56	0.98757	0.98443	0.99782	0.98913	0.1203	102.8	2.51	0.59	1.35	4.45	0.54	0.13	0.02	0.08	0.23	0.03	0.05	0.01	4.73	0.57
46年目	R 57	0.98742	0.98418	0.99781	0.98901	0.1157	102.8	2.48	0.58	1.34	4.41	0.51	0.13	0.02	0.08	0.23	0.03	0.05	0.01	4.68	0.54
47年目	R 58	0.98726	0.98393	0.99781	0.98889	0.1112	102.8	2.45	0.57	1.34	4.36	0.49	0.13	0.02	0.08	0.23	0.03	0.05	0.01	4.64	0.52
48年目	R 59	0.98709	0.98367	0.99780	0.98876	0.1069	102.8	2.42	0.57	1.34	4.32	0.46	0.13	0.02	0.08	0.22	0.02	0.05	0.00	4.59	0.49
49年目	R 60	0.98692	0.98340	0.99780	0.98864	0.1028	102.8	2.39	0.56	1.34	4.28	0.44	0.13	0.02	0.08	0.22	0.02	0.04	0.00	4.54	0.47
合計								157.49	39.15	70.36	266.99	89.04	8.29	1.47	3.98	13.74	4.57	2.86	0.96	283.59	94.57

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 一般国道307号 信楽道路

年次	年度 (基準年) R 2	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合 計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 11	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.7026	102.8	3.86	1.01	1.45	6.32	4.44	0.20	0.04	0.08	0.32	0.23	0.07	0.05	6.71	4.71
1年目	R 12	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.6756	102.8	3.85	0.99	1.46	6.31	4.26	0.20	0.04	0.08	0.32	0.22	0.07	0.05	6.70	4.53
2年目	R 13	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6496	102.8	3.82	0.98	1.46	6.26	4.07	0.20	0.04	0.08	0.32	0.21	0.07	0.04	6.65	4.32
3年目	R 14	0.99183	0.99059	0.99800	0.99254	0.6246	102.8	3.79	0.97	1.46	6.22	3.89	0.20	0.04	0.08	0.32	0.20	0.07	0.04	6.61	4.13
4年目	R 15	0.99177	0.99050	0.99800	0.99248	0.6006	102.8	3.76	0.96	1.45	6.18	3.71	0.20	0.04	0.08	0.32	0.19	0.07	0.04	6.56	3.94
5年目	R 16	0.99170	0.99041	0.99799	0.99242	0.5775	102.8	3.73	0.96	1.45	6.14	3.54	0.20	0.04	0.08	0.31	0.18	0.07	0.04	6.52	3.76
6年目	R 17	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5553	102.8	3.70	0.95	1.45	6.09	3.38	0.20	0.04	0.08	0.31	0.17	0.07	0.04	6.47	3.59
7年目	R 18	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.5339	102.8	3.67	0.94	1.44	6.05	3.23	0.19	0.04	0.08	0.31	0.17	0.07	0.04	6.43	3.43
8年目	R 19	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.5134	102.8	3.64	0.93	1.44	6.01	3.08	0.19	0.03	0.08	0.31	0.16	0.07	0.03	6.38	3.28
9年目	R 20	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.4936	102.8	3.61	0.92	1.44	5.96	2.94	0.19	0.03	0.08	0.31	0.15	0.07	0.03	6.33	3.13
10年目	R 21	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4746	102.8	3.57	0.91	1.44	5.92	2.81	0.19	0.03	0.08	0.30	0.14	0.06	0.03	6.29	2.98
11年目	R 22	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4564	102.8	3.54	0.90	1.43	5.88	2.68	0.19	0.03	0.08	0.30	0.14	0.06	0.03	6.24	2.85
12年目	R 23	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4388	102.8	3.51	0.89	1.43	5.83	2.56	0.19	0.03	0.08	0.30	0.13	0.06	0.03	6.20	2.72
13年目	R 24	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.4220	102.8	3.48	0.88	1.43	5.79	2.44	0.18	0.03	0.08	0.30	0.13	0.06	0.03	6.15	2.60
14年目	R 25	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.4057	102.8	3.45	0.87	1.42	5.75	2.33	0.18	0.03	0.08	0.30	0.12	0.06	0.03	6.11	2.48
15年目	R 26	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.3901	102.8	3.42	0.86	1.42	5.70	2.23	0.18	0.03	0.08	0.29	0.11	0.06	0.02	6.06	2.36
16年目	R 27	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3751	102.8	3.39	0.85	1.42	5.66	2.12	0.18	0.03	0.08	0.29	0.11	0.06	0.02	6.01	2.26
17年目	R 28	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3607	102.8	3.36	0.85	1.42	5.62	2.03	0.18	0.03	0.08	0.29	0.10	0.06	0.02	5.97	2.15
18年目	R 29	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3468	102.8	3.33	0.84	1.41	5.58	1.93	0.18	0.03	0.08	0.29	0.10	0.06	0.02	5.92	2.05
19年目	R 30	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3335	102.8	3.30	0.83	1.41	5.53	1.85	0.17	0.03	0.08	0.28	0.09	0.06	0.02	5.88	1.96
20年目	R 31	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.3207	102.8	3.27	0.82	1.41	5.49	1.76	0.17	0.03	0.08	0.28	0.09	0.06	0.02	5.83	1.87
21年目	R 32	0.99043	0.98867	0.99793	0.99138	0.3083	102.8	3.23	0.81	1.40	5.45	1.68	0.17	0.03	0.08	0.28	0.09	0.06	0.02	5.79	1.78
22年目	R 33	0.99034	0.98854	0.99792	0.99130	0.2965	102.8	3.20	0.80	1.40	5.40	1.60	0.17	0.03	0.08	0.28	0.08	0.06	0.02	5.74	1.70
23年目	R 34	0.99024	0.98840	0.99792	0.99123	0.2851	102.8	3.17	0.79	1.40	5.36	1.53	0.17	0.03	0.08	0.28	0.08	0.06	0.02	5.69	1.62
24年目	R 35	0.99014	0.98827	0.99791	0.99115	0.2741	102.8	3.14	0.78	1.39	5.32	1.46	0.17	0.03	0.08	0.27	0.08	0.06	0.02	5.65	1.55
25年目	R 36	0.99005	0.98813	0.99791	0.99107	0.2636	102.8	3.11	0.77	1.39	5.27	1.39	0.16	0.03	0.08	0.27	0.07	0.06	0.02	5.60	1.48
26年目	R 37	0.98995	0.98798	0.99790	0.99099	0.2534	102.8	3.08	0.76	1.39	5.23	1.33	0.16	0.03	0.08	0.27	0.07	0.06	0.01	5.56	1.41
27年目	R 38	0.98984	0.98784	0.99790	0.99091	0.2437	102.8	3.05	0.75	1.39	5.19	1.26	0.16	0.03	0.08	0.27	0.07	0.06	0.01	5.51	1.34
28年目	R 39	0.98974	0.98769	0.99790	0.99083	0.2343	102.8	3.02	0.74	1.38	5.15	1.21	0.16	0.03	0.08	0.27	0.06	0.06	0.01	5.47	1.28
29年目	R 40	0.98963	0.98754	0.99789	0.99074	0.2253	102.8	2.99	0.74	1.38	5.10	1.15	0.16	0.03	0.08	0.26	0.06	0.05	0.01	5.42	1.22
30年目	R 41	0.98953	0.98738	0.99789	0.99065	0.2166	102.8	2.96	0.73	1.38	5.06	1.10	0.16	0.03	0.08	0.26	0.06	0.05	0.01	5.37	1.16
31年目	R 42	0.98941	0.98722	0.99788	0.99057	0.2083	102.8	2.92	0.72	1.37	5.02	1.04	0.15	0.03	0.08	0.26	0.05	0.05	0.01	5.33	1.11
32年目	R 43	0.98930	0.98705	0.99788	0.99048	0.2003	102.8	2.89	0.71	1.37	4.97	1.00	0.15	0.03	0.08	0.26	0.05	0.05	0.01	5.28	1.06
33年目	R 44	0.98919	0.98688	0.99787	0.99039	0.1926	102.8	2.86	0.70	1.37	4.93	0.95	0.15	0.03	0.08	0.25	0.05	0.05	0.01	5.24	1.01
34年目	R 45	0.98907	0.98671	0.99787	0.99029	0.1852	102.8	2.83	0.69	1.37	4.89	0.91	0.15	0.03	0.08	0.25	0.05	0.05	0.01	5.19	0.96
35年目	R 46	0.98895	0.98653	0.99786	0.99020	0.1780	102.8	2.80	0.68	1.36	4.84	0.86	0.15	0.03	0.08	0.25	0.04	0.05	0.01	5.15	0.92
36年目	R 47	0.98882	0.98634	0.99786	0.99010	0.1712	102.8	2.77	0.67	1.36	4.80	0.82	0.15	0.03	0.08	0.25	0.04	0.05	0.01	5.10	0.87
37年目	R 48	0.98870	0.98615	0.99785	0.99000	0.1646	102.8	2.74	0.66	1.36	4.76	0.78	0.14	0.02	0.08	0.25	0.04	0.05	0.01	5.05	0.83
38年目	R 49	0.98857	0.98596	0.99785	0.98990	0.1583	102.8	2.71	0.65	1.35	4.72	0.75	0.14	0.02	0.08	0.24	0.04	0.05	0.01	5.01	0.79
39年目	R 50	0.98844	0.98576	0.99785	0.98980	0.1522	102.8	2.68	0.64	1.35	4.67	0.71	0.14	0.02	0.08	0.24	0.04	0.05	0.01	4.96	0.76
40年目	R 51	0.98830	0.98555	0.99784	0.98969	0.1463	102.8	2.65	0.63	1.35	4.63	0.68	0.14	0.02	0.08	0.24	0.04	0.05	0.01	4.92	0.72
41年目	R 52	0.98816	0.98534	0.99784	0.98958	0.1407	102.8	2.62	0.63	1.35	4.59	0.65	0.14	0.02	0.08	0.24	0.03	0.05	0.01	4.87	0.69
42年目	R 53	0.98802	0.98513	0.99783	0.98947	0.1353	102.8	2.58	0.62	1.34	4.54	0.61	0.14	0.02	0.08	0.24	0.03	0.05	0.01	4.83	0.65
43年目	R 54	0.98787	0.98490	0.99783	0.98936	0.1301	102.8	2.55	0.61	1.34	4.50	0.59	0.13	0.02	0.08	0.23	0.03	0.05	0.01	4.78	0.62
44年目	R 55	0.98773	0.98467	0.99782	0.98925	0.1251	102.8	2.52	0.60	1.34	4.46	0.56	0.13	0.02	0.08	0.23	0.03	0.05	0.01	4.73	0.59
45年目	R 56	0.98757	0.98443	0.99782	0.98913	0.1203	102.8	2.49	0.59	1.33	4.41	0.53	0.13	0.02	0.08	0.23	0.03	0.05	0.01	4.69	0.56
46年目	R 57	0.98742	0.98418	0.99781	0.98901	0.1157	102.8	2.46	0.58	1.33	4.37	0.51	0.13	0.02	0.07	0.23	0.03	0.05	0.01	4.64	0.54
47年目	R 58	0.98726	0.98393	0.99781	0.98889	0.1112	102.8	2.43	0.57	1.33	4.33	0.48	0.13	0.02	0.07	0.22	0.02	0.05	0.01	4.60	0.51
48年目	R 59	0.98709	0.98367	0.99780	0.98876	0.1069	102.8	2.40	0.56	1.32	4.28	0.46	0.13	0.02	0.07	0.22	0.02	0.05	0.00	4.55	0.49
49年目	R 60	0.98692	0.98340	0.99780	0.98864	0.1028	102.8	2.37	0.55	1.32	4.24	0.44	0.12	0.02	0.07	0.22	0.02	0.04	0.00	4.51	0.46
合 計								156.27	38.85	69.65	264.77	88.30	8.25	1.46	3.92	13.63	4.54	2.86	0.96	281.26	93.80

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道307号	信楽道路	4	2.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				4,145	
	改良費				2,606	
		土工	m ³	201,020	1,301	切土(74,462m ³)、盛土(117,125m ³)、捨土(9,433m ³)等
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	40,483	31	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,202	重力式擁壁等
		函渠工	m	289	72	
	橋梁費			73	1,007	
		100m以上	m			
		100m未満	m	73	1,007	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費			60,561	512	
		車道舗装	m ²	46,801	396	新設面積:26,006m ² 、現道面積:20,795m ²
		歩道舗装	m ²	13,760	116	
	付帯施設費				20	
		交通管理施設工	式	1	20	標識、防護柵、道路照明等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				3,020	
	用地費		m ²	95,000	1,660	
		宅地	m ²	30,300	1,212	
		田畑	m ²	26,700	347	
		山林・原野	m ²	38,000	101	
	補償費		式		1,360	
③	間接経費		式	1	835	地質調査、測量、設計に係る費用等
	全体事業費				8,000	

全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道307号	信楽道路	4	2.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.9	100	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	700	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			800	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道307号	信楽道路	4	2.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				3,733	
	改良費				2,204	
		土工	m ³	192,830	1,248	切土(66,421m ³)、盛土(117,340m ³)、捨土(9,069m ³)等
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	39,851	30	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	926	重力式擁壁等
		函渠工	m	289		
	橋梁費			73	1,007	
		100m以上	m			
		100m未満	m	73	1,007	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費			59,308	502	
		車道舗装	m ²	45,707	387	新設面積:25,399m ² 、現道面積:20,308m ²
		歩道舗装	m ²	13,601	115	
	付帯施設費				20	
		交通管理施設工	式	1	20	標識、防護柵、道路照明等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				1,987	
	用地費		m ²	69,800	990	
		宅地	m ²	15,706	612	
		田畑	m ²	24,007	307	
		山林・原野	m ²	30,087	71	
	補償費		式		997	
③	間接経費		式	1	605	地質調査、測量、設計に係る費用等
	全体事業費				6,325	

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道307号	信楽道路	4	2.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.9	100	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	700	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			800	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

国近整企画第54号
令和2年10月9日

滋賀県知事 殿

近畿地方整備局長

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、令和2年11月11日(水)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、令和2年10月26日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道161号小松拡幅 一般国道161号湖北バイパス 一般国道161号湖西道路(真野～坂本北)	事業継続	
一般国道307号信楽道路	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。



滋 高 幹 第 23 号
令和 2 年 (2020 年) 10 月 26 日

国土交通省
近畿地方整備局長 様

滋賀県知事 三日月 大造



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成
に係る意見照会について（回答）

令和 2 年 10 月 9 日付け国近整企画第 54 号で照会のありましたこのことについて、別紙のとおり回答します。

対象道路事業

- ・一般国道 161 号 小松拡幅
- 一般国道 161 号 湖北バイパス
- 一般国道 161 号 湖西道路（真野～坂本北）

- ・一般国道 307 号 信楽道路

(別紙)

【一般国道161号 湖北バイパス、小松拡幅、湖西道路（真野～坂本北）】

一般国道161号湖北バイパス、一般国道161号小松拡幅、一般国道161号湖西道路（真野～坂本北）の事業が進められている現道区間においては、交通混雑や交通事故が多数発生しており、沿道地域の経済活動、社会活動に大きな支障をきたしています。また、自然災害や交通事故による通行止めが発生した時に代替となる道路が無い区間もあり、危機管理の観点からも一刻も早い整備が強く望まれています。

以上のことから、対応方針（原案）のとおり、事業効果の早期発現に向けたさらなる整備促進をお願いします。

事業実施にあたっては、必要な予算の確保と徹底したコスト縮減に取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、滋賀県としても事業促進に最大限の努力をしてまいります。

【一般国道307号 信楽道路】

一般国道307号の事業が進められている現道区間においては、朝夕の通勤時間帯や観光客が増加する休日に交通混雑が発生しており、沿道地域の経済活動、社会活動に大きな支障をきたしています。

また、地域の活性化のため、広域ネットワークである新名神高速道路へのアクセスの強化が強く望まれています。

以上のことから、対応方針（原案）のとおり、事業効果の早期発現に向けたさらなる整備促進をお願いします。

事業実施にあたっては、必要な予算の確保と徹底したコスト縮減に取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、滋賀県としても事業促進に最大限の努力をしてまいります。